



いるま

# 市議会だより

平成14年9月  
定例会号 **NO120**  
2002 / 平成14年11月1日発行

編集 議会だより編集委員会 発行 入間市議会 〒358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 ☎(042)964-1111



## 完成間近 健康福祉センター 来春オープンへ工事急ピッチ



PRINTED WITH  
SOY INK

100

いるま市議会だよりは古紙配合率100%の再生紙と環境にやさしい「大豆油インキ」を使用しています

第3回定例会

# 人間市税条例の一部を改正 する条例など31議案を審議!!

平成14年第3回定例会は、8月30日から9月18日までの20日間開催され、提出議案31件について審議されました。

内容としては、議員提出による条例1件外1件と、市長提出による専決処分1件、規約1件、条例6件、一般議案1件、平成14年度補正予算9件、平成13年度決算認定11件であり、平成13年度決算認定を除くすべての議案が原案のとおり可決されました。

なお、平成13年度決算認定11件については、12人の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、同委員会に付託のうえ、閉会中の継続審査とすることに決定しました。

## 議員提出議案

人間市議会議員の定数を定める条例

地方分権一括法により、市町村議会の議員定数は、人口区分ごとに定められた数の範囲内で、自主的に条例で定めることになったため、人間市議会の議員定数を28人（現行どおり）とした内容の条例を新たに制定するもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

## 条例

### 【一部改正】

人間市手数料条例の一部を改正する条例

地方税法の改正に伴い、固定資産課税台帳の閲覧に係る手数料を徴収するための改正であり、審議の結果、全員一致で原案可決。

法改正により、固定資産課税台帳の閲覧制度、評価額等の証明制度を法令上位置づけること、借地人・借家人等に対しても、固定資産課税台帳の閲覧を認め、固定資産税額の証明書の交付がおこなわれることになった。

人間市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正をするもので、審議の結果、賛成多数で原案可決。

緊急経済対策として個人投資家の市場参加を促すために、株式譲渡益100万円までの特別控除の適用期限延長、税率等の優遇、株式譲渡益の申告分離課税への一本化に伴い個人投資家の納税申告事務の証券会社代行、上場株式等に係る譲渡損失の繰越制度の創設等の措置がとられた。

人間市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部を改正する政令が施行されたことに伴い、退職報償金の額を改定するもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

5年以上勤務した消防団員に対して支給される退職報償金が、一律4千円引き上げられた。

人間市火災予防条例の一部を改正する条例

消防法の一部が改正されたことに伴い、所要の改正をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

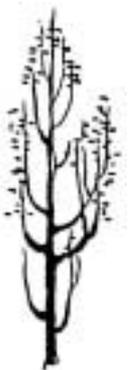
火を使う施設等への立ち入り検査の時間制限撤廃、罰則強化などの改正がされた。

人間市葬祭条例の一部を改正する条例

瑞穂斎場組合斎場の名称が瑞穂斎場に変更されることに伴い、所要の改正をするもので、審議の結果、全員一致で原案可決。

人間市国民健康保険条例の一部を改正する条例

国民健康保険法等の一部改正に伴い、医療を受けるときの自己負担割合や自己負担限度額が変わることにより、一部負担金の額を改めるもので、審議の結果、賛成多数で原案可決。



### 選挙管理委員会の 委員及び補充員 決まる

平成14年10月2日に任期満了となる入間市選挙管理委員会委員及び補充員については、定例会最終日に指名推薦により次の方々を選出した。

#### (選挙管理委員会委員)

横田 芳男氏  
入間市豊岡二丁目1番7号

飯沼 巖氏  
入間市大字下藤沢268番地4

福田 恵子氏  
入間市黒須二丁目6番17号

小田島 貞榮氏  
入間市宮寺2967番地16

#### (選挙管理委員会補充員)

三木 登氏  
入間市大字西三ツ木100番地

岩崎 マリ子氏  
入間市大字仏子997番地8  
仏子団地12 207

石田 陌雄氏  
入間市大字上藤沢125番地

高山 金之助氏  
入間市大字新久582番地1

9月定例会の一般質問は、質問者14名により9月10・11・12日の3日間行われました。

# 一般質問

(質問・答弁内容は、質問者本人が要約したものです。)

### 富士見通り線・ 高齢者住宅・合併

#### 塩屋 和雄議員

質問 長年の懸案である富士見通り線の整備が着手される。今年度は東町扇小通線までの約400m、来年がその先の約180m、16年度以降が小谷田一丁目で既設部分に接続するまでの220mの予定。幹線道路として早期開通が待たれるが、3工区では移転家屋も多く、早くからの交渉が必要では。市長 40〜50年前に計画された道路で、一時も早い開通が必要。土地借り上げ方式を基本に、早期着工を目指す。

質問 高齢者や障害者の住宅改修で、ケアマネジャーは福祉の専門家ではあるが建築に関しては専門外。利用者の相談できる体制になっていない。東京商工会議所資格認定の「福祉住環境コーディネーター」は、「住宅改修が必要なる理由書」の作成資格者として国の通達で認知。市でも制度の中に位置づけるべきでは。市長 ケアマネジャーから実務上悩んでいるとの意見もある。制度化し、利用者の使い勝手の良い住宅改修に努力。

つて削られ、合併した町村の多くは財政危機が深刻化、ツケは住民に転嫁された歴史がある。市内部に合併研究会が設置されたが、水ぶくれ合併・理念無き合併にならないためにも、行政改革や成果指針・将来構想を示すべきでは。

市長 昭和の合併では国の主導が厳しく、各地で紛争を起こした苦い経験がある。来年5月までに研究成果をまとめ市民に示す。合併の相手はどこになるかの選択肢について、議論の場を提供していく。



### 住基ネットの評価、 総背番号制

#### 野口 哲次議員

市長 住基ネットは、情報漏えいに対し相当程度、防御措置がとられている。また、多くの市民に利便性を与える制度である。

質問 横浜市が採用した選択方式は、個人の人權を尊重する上で妥当な解決策では。市長 一部の人のために多額の費用をかけることは妥当でない。

質問 現行の4つ(氏名・住所・性別・生年月日)以外の個人情報に住民票コードが利用されることは、国民総背番号制につながる。その場合、入間市では、市民の人權を守る立場から住基ネットとの切断を検討すべき。

市長 国民総背番号制は、なし崩しのにやるべきことではない。国会、国民、市民の議論を待って対応を決めたい。

質問 来年8月から住基基本台帳カードによる市独自のサービスが始まるが、その際の情報管理はどうするのか。市長 情報の安全性については、分散型管理を選択肢のひとつとして十分検討したい。

質問 給食センターで始まる生ゴミの堆肥化を給食を残さないことの大事さを含めて、循環型環境教育に活用しては。教育長 堆肥を学校花壇や農家で使い、教えて行きたい。

質問 住民票コードの通知後、個人情報漏えいの不安や番号強制の不快感を表明する人が少なくない。また、維持費が国全体で約200億円かかることから費用対効果に疑問をもつ人も多い。住基ネットは、いったん凍結し、国民の議論のもとに見直す必要がある。

### 学校週5日制に 対応した活動

神谷 達議員

質問 学校週5日制が開始され、約4か月間が経過したが、学校週5日制に対応した活動としての現在の状況と、今後の活動方針は。

生涯学習部長 元気な人間つ子を育てる地域支援事業として、現在11の公民館で地域支援連絡会を組織化して事業を推進している。残る2つの公民館でも、会議等を開催して間もなく組織化を図る。今後は、地域の教育力の再生をめざし、各種団体の代表者と協議を重ねて事業の推進を図っていく。しかし、まだ事業が開始されたばかりなので、



元気な人間つ子を育てる地域支援事業(仏子小学校にて)

状況についてはまだ判断する段階ではないと考えている。今しばらく事業の推進状況を見守っていただきたい。

質問 当市の消防は、現在1署2分署体制で約15万人の市民の生命、財産を守っている。今後の人口増加等を考慮し、また、さらなる消防力の強化をめざして、黒須、金子、宮寺地域に分署を設置するべきであると考えているが、

消防長 現在の時点では、黒須、金子、宮寺地域への分署の設置計画は考えていない。今後、現在の1署2分署体制で、さらに職員の訓練を重ねて対応をしていく。

### 一学校一プールは必要か？

宮岡 幸江議員

質問 築20〜30年のプールが小学校で12校、中学校は8校と施設が老朽化し、水漏れ等近隣住民に迷惑をかけたり、使用期間以外の管理上も問題を抱えている。学校プールの維持管理計画は。

教育総務部長 財政困難な中、塗装等小さい修理は行うが大規模改修・改築はしない。

質問 小学生は授業として水泳は一人10〜13回。中学一年生は必修5時間。二丁三年



生は選択となり、水泳の無い学校もある。水泳部は無く、夏休み期間の開放はしていない。このように利用度が低く、古くて管理も困難であることから、一校一プールは見直す時期と考えるが、代用施設として民営プール、小・中学校合同での利用等は考えられないか。

教育総務部長 難しい面も多々あるが、民営施設関係者や学校との調整を含め、よい方向を見出すよう努力する。

質問 高齢者や障害者の補助器具は利用者の生活の幅を広げ、介護者の負担の軽減を図る大切な器具である。現在、補助器具選び、相談は介護支援専門員が行っている。利用者の個別の障害に合う補助器具を選ぶためには、作業療法士が相談に当たり、体験可能で貸与、修理、リサイクルを行う場所が自立支援に向け必要と考えるが。

市長 在宅介護支援センター、介護支援専門員、市が一

体となり相談していく。自立は高齢者福祉にとって重要な要件である。少しでも改善される方向に取り組んでいく。

### 改良実現なしに イオン開店許すな

石田 芳夫議員

質問 イオン出店計画に対する意見書の状況と見直しは。

市長 延べ17人から提出された。市も5項目要請したが、実現は厳しいようだ。

質問 開発者と道路や交差点の改良を協議し同意している。その実現の前にイオンがオープンするのであれば、生活環境に支障を生じない範囲に車を減らすため、売場面積や24時間営業を制限させるべきではないか。

市長 道路改良には地権者の同意が必要であり、オープンにあたっての条件にできない。国道463号バイパスの右折車線延長もすぐには厳しい。なお、理由は不明だが、イオンは店のオープンを来年3月から6月に先延ばしした。

質問 具体的問題を解決するために全国の多くの自治体が「まちづくり条例」を制定している。現在審議中のものは何が目的か。また、都市マ



運動公園テニスコート

スタープランの藤沢土地利用方針図に適合しないマンションや超大型店進出が計画されている。市のビジョンである「都市マスタープラン」を実現して行くための「まちづくり条例」が必要ではないのか。

市長 元気な人間まちづくり条例については、市民が主体的に協働する理念と手続きの審議をお願いしている。都市マスタープランの実現のためにもっと早く取り組むべきだった。いろいろな実現方法があり議論する。

質問 テニスコートの大会利用等の周知。中学生に軟式に加え、硬式テニスの推進を。

教育長 パンプを作成し周知する。ニーズ、情勢に変化があり推進する。

### 就学援助の対象者を せばめるな

金子 健一議員

質問 経済的理由で就学困難な家庭への援助は重要。市は就学援助制度に新基準で対象をせばめたが、その意図は

教育長 昨今の社会事情で申請が増加、市の負担も増えている。ふさわしくない人が受けているという声も聞く。

質問 「就学援助を受けながらぜい沢をしている」という訴えは何件か。調査結果は

教育長 調査はしていない。そういう噂が多くなった。

質問 離婚や夫の死亡で母子家庭になったり、リストラや病気で収入がなくなった人が、居住目的の土地や家屋があることで「援助対象外者」となる理由になるのか。

教育長 目安にすぎない。ケースバイケースで対応する。

質問 ケースバイケースなら国の基準で十分。市の一方的な基準でふるいにかけ、泣きついてきた人だけ救うというのは市民の目線ではなく、「お上の発想」ではないか。

教育長 シャットアウトするつもりはない。

質問 今年度、新基準で却下された人は何人か。



教育長 申請880人中192人却下。うち22人は再審査で認定

質問 0157の事件を機に始まった自校給食校の調理室改修が遅れているが。

教育長 雨もり等の補修を優先させた。今後は実施計画にのせ計画的に進める。

質問 暑くて授業にならない普通教室へ、国はクーラー設置の方針だが、具体化は。

教育長 特別教室を優先し、普通教室は国、県の動向をみて対処する。

### 文化振興に市独自の 条例制定を！

箕口 順子議員

質問 国において「文化芸術振興基本法」が制定されたことは、心豊かな活力ある社会を築いていく上で画期的な取り組みである。当市においても文化の更なる気運の醸成が重要であり、市独自の指針

条例の制定をすべきと思うが、市長 地域文化は市民が自

由な活動をする事に行政がサポートする事が大切であり、現在条例を作る考えはない。

質問 学校教育における文化芸術の取り組みと子どもたちが文化に触れる体験プログラムを作成し提供すべき。

教育長 現在子どもたちに文化芸術に触れる機会を提供しているが、その活動に更にプラスし計画に添って取り組む。

質問 市民に親しまれたグリーンロッジを音楽活動の場として再利用はできないか。

市長 老朽化も進み、生かすにも多額な費用を要する。今後一部だけでも残し他の目的に利用できるよう検討する。

質問 読み聞かせに関する各関係施設の窓口を一元化で



市立図書館のお話(読み聞かせ)コーナー

きるシステムにすべき。また、読み聞かせ養成講座の実施は。市長 図書館を窓口にし、一元化を図っていく。また、養成講座は図書館中心に実施していく。

質問 学校図書館整備の現状と今後の司書教諭の配置は。

教育長 各学校図書館の整備は地方交付税を活用し、年度毎に増額し充実している。司書教諭については平成15年度も「緊急雇用創出基金」を活用し引き続き配置する。その後は子どもたちへの読書アドバイザーとして、更に配置できるように予算計上していく。

### 事故防止への 情報処理を

堤 利夫議員

質問 モーターリゼーションの発達とともに、交通戦争といわれた死亡事故が年間一万人を超えていた頃と比較すると、死者数については減少しているものの事故の総件数は増加傾向にある。市内における人身事故件数は、平成4

年が485件であったものが、平成12年では975件と2倍に増えている。毎年、さまざまな安全対策が実施されているが、事故が減らないのはなぜか。

市民部長 スピードの抑止策として、南峯地内の県道がカーブしている場所に破線を引いた。道路を狭く見せることによりスピードの抑止効果をねらったものである。今後、さまざまな情報の収集、処理に努め安全対策に役立てたい。

質問 旧グリーンロッジに通ずる山道は降雨時の利用が困難であり、排水対策を講ずるべきである。

建設部長 利用者の利便性を考慮し、雨水排水対策を検討する。

質問 ハイネス入間ガードニア前の交差点からいちよう通りまでの道路(市道幹25号線)の歩道整備の手法について道路拡幅は可能か。また、隣接する水路敷の活用方法は。

建設部長 現状では道路の拡幅による整備は困難であるため、水路敷の活用や市道B132号線の活用を含め検討する。

質問 市民部長 スピードの抑止策として、南峯地内の県道がカーブしている場所に破線を引いた。道路を狭く見せることによりスピードの抑止効果をねらったものである。今後、さまざまな情報の収集、処理に努め安全対策に役立てたい。

質問 旧グリーンロッジに通ずる山道は降雨時の利用が困難であり、排水対策を講ずるべきである。

建設部長 利用者の利便性を考慮し、雨水排水対策を検討する。

質問 ハイネス入間ガードニア前の交差点からいちよう通りまでの道路(市道幹25号線)の歩道整備の手法について道路拡幅は可能か。また、隣接する水路敷の活用方法は。

建設部長 現状では道路の拡幅による整備は困難であるため、水路敷の活用や市道B132号線の活用を含め検討する。

質問 市民部長 スピードの抑止策として、南峯地内の県道がカーブしている場所に破線を引いた。道路を狭く見せることによりスピードの抑止効果をねらったものである。今後、さまざまな情報の収集、処理に努め安全対策に役立てたい。

質問 旧グリーンロッジに通ずる山道は降雨時の利用が困難であり、排水対策を講ずるべきである。

建設部長 利用者の利便性を考慮し、雨水排水対策を検討する。



### 公設の保育所 建設を要望

対馬 ヨシ江議員

質問 国の待機児童ゼロ作戦は一年以上経過したが依然解消されない。当市の待機児童対策は定員枠外の受け入れと民間保育園の増築で対応してきた。しかし、9月1日現在87人(保留児童含む)と減らない。子育て支援策からも大変深刻だ。依然解消されない待機児童の対策は。

福祉部長 民間の施設整備増園、分園で対応。駅前の保育サービスの検討に着手。二〇〇三年から東金子保育所でゼロ歳児保育を行う。

質問 国は入所率を年度当初定員の15%、10月以降は25



金子第一保育所

%を超えてもよいとした。当市の8月2日現在の入所率は、公立で121%の所が、民間では127・5%の所があるなど、10月を待たずに国基準を超えている所もある。安易な待機児童対策として定員枠拡大での入所は子どもたちと保育士の負担増となり、保育内容に悪影響を与えると考えるが。

福祉部長 従来どおり入所枠の拡大で行う。

質問 現在の待機児童・入所率の状況から判断し公設の保育所建設が必要だ。見解は。

福祉部長 考えはない。

質問 築後30年を超えた保育所もあり老朽化が進んでいる。建て替えが必要では。

福祉部長 金子第一保育所の建設に伴う用地取得を行う。

質問 難聴者への対応として耳マーク(耳が不自由であることを図柄にしたもの)を市役所窓口で提示し活用を。

福祉部長 聴覚障害者、難聴者が来庁した際安心して手続きができるよう実施したい。

### 国民総背番号の 社会は防止したい

山下 修子議員

質問 住民基本台帳ネットワークシステムは大手コンピュータ業者4社の独占市場で、



新たな公共事業の始まりだ。

しかも政府は利用できる93事務を264に拡大する法案を、既に国会に提出している。現実問題として状況ははるかに先行しており、市に寄せられた市民の声・行動から、選択制を導入すべきと考えるがどうか。総務省の警告を恐れることはない。全国で約400万人未接続だ。

市長 横浜市のような選択制は導入するつもりがない。

質問 今年8月埼玉県はNPOと行政の協働に関する調査に着手した。NPOとは市民が主体となつて継続的自発的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体だが、協働の形は広範囲のものが予想される。組織のあり方や体質の強化など課せられた問題もあるが、自治体も政策をきちんと持たねばならない時代だ。市内に幾つ誕生しているか。担当窓口をどうするか。

市長 現在7団体。将来的には統合して対応したいが当面は各課で担当としたい。

質問 湧水の保全や自然再

生に配慮して河川整備を考えたが、このところ大雨による被害は著しく、災害に耐え環境に配慮した川づくりの必要性を痛感する。高倉在住の時に見た霞川の濁流と崩れた土砂の勢いは忘れられない。改修工事の成果はどうか。また、上流地域の保水能力不足による災害の防止は上流の住民・自治体との連帯を探る必要がある。

市長 災害防止のため改修の方は取り組んでいる。

### 紫外線の恐怖を 子どもたちに！

鹿倉 貞一議員

質問 一九九六年、病原性大腸菌O157による集団食中毒が発生し、食中毒に対する過剰なまでの衛生管理がさげられた。施設の改修、設備の改善は、少しずつ行われていくが、それよりもその中で働く栄養士、調理員に対して厳しい管理を行うことで、食中毒を防ごうという方向の対応ではないか。確かに働く者の意識は、今まで以上でなくてはならないが、同様に職場の環境、施設設備が重要である。学校給食衛生管理の基準では、調理後2時間以内に、子どもが食することを求めて

いるが、現状はどうか。また、給食配送車の現状は。

教育長 2時間以内で、子どもが食せるように努力はしているが、献立によつては、無理がある。配送車は、現在5台所有し、4台が稼働している。効率よい配送に努力する。

質問 特定フロンなどによつて、オゾン層が破壊され、紫外線が強い状態で地球に降り注いでいる。昔は、日焼けは、体に良い、健康的だ、と言われていたが、学者、専門家は、そろつて紫外線の恐怖を訴えている。特に子どもの頃に浴びる紫外線の量が、将来における、ガンの確率を高めると言っている。今のままの紫外線に対する認識だと皮膚ガンは増えてしまう。学校教育において、紫外線を知り、理解できるようにする対策はできないか。

教育長 プールサイドにテントを張ることや日陰での野外授業など、指導はしている。

### 博物館の学芸研究 入間川水系環境

宮岡 治郎議員

質問 入間市博物館について、(1)「茶の博物館」として、全国的に見てどの位置にある

か。(2)茶に関して、どのような質問が多いのか。(3)学芸研究の社会的な有用性を、どう考えるか。(4)人間市地域の近代の歴史は、先進的で内容も豊富であると考えるが、研究対象としての魅力はどうか。

生涯学習部長 (1)状況を総合的に判断して、全国で一、二を争う施設と想っている。(2)常設の『茶の世界』の展示物に関するものが一番多い。(3)教育的配慮のもとに、市民生活の文化的向上に役立つ内容でなくてはならない。(4)金子村の地方自治、織物や茶の産業、繁田武平、粕谷義三、石川幾太郎、市村高彦に代表される人物、『豊岡大学』等の学習活動が、良い研究対象であり、調査研究を進めたい。

質問 人間川水系の環境について、(1)公共下水道の普及による水の浄化の効果は、水質の分析測定結果に、具体的に表れてきているか。(2)プラックバス等の外来魚対策の実施方法と成果はどうか。

環境経済部長 (1)公共下水道普及前の平成7年度と普及が進んだ平成13年度を比べると、水質汚濁の代表的な指標のBODの1ℓ当たりの値で、支流の大沢川が33.0から7.4に、前堀川が12.0から2.5に、秋津川が5.6から1.6に、藤田堀が15.5か



豊岡大学講義風景

ら7.3に、また、人間川は2.3から0.8へと減少し、改善されている。(2)平成13年度に流域自治体が連携し、漁業協同組合に委託して網で76匹捕獲した。今年度は早い時期から開始し、既に323匹捕獲した。

さけて通れぬ課題  
職員給与と合併

田中 智義議員

質問 雇用情勢が悪化し、民間給与は厳しい状況にある。公務員給与が民間を上回り不公平感が増大する中で、本年度の人事院勧告が8月に出された。勧告内容は、年間平均給与の15万円の減少、ボーナスの年間支給を4.65か月(0.05か月)に変更、扶養手当の減額などである。市としての対

応と、全体の影響額は。企画部長 勧告に準じて完全実施し、3月期の期末手当で調整を行う。予算に対する影響額は、1億7千700万円で、職員一人当たりの平均では15万5千円となる。

質問 狭山湖外周道路は狭山湖を一周する都県にまたがる道路であり、以前は不法投棄が多かった。対策として東京都側や所沢市の一部では夜間通行止めを行い、不法投棄防止に効果をあげている。人間市から瑞穂町につながるこの道路を、ごみの捨て場所としないために、車両の夜間通行止めにはできないか。

市長 パトロール等を強化し、しばらく様子を見た上で、夜間通行止めにするかどうか検討したい。

質問 飯能市・狭山市に次いで人間市でも庁内合併研究会を立ち上げた。合併に対する今の考えは。また、近隣市との情報交換は行っているか。

市長 以前は中核市を念頭に30万人規模の都市が適当と考えたが、政令指定都市の要件の基準緩和等があり、50万70万人都市が可能ならば、目指すべきである。所沢市は未定であるが、飯能市・狭山市とは情報交換を行う。

私道に埋設の下水道  
管理について



上原 正明議員

質問 人間市私道共同排水設備設置事業補助金を受けて設置された下水道管の維持管理は、現状は個人負担となっているが、市が公費負担で維持管理運営ができないか。

建設部長 私道に設置されている共同排水設備は私有財産であるので管理は設置者が実施すべきものと考えているが、しかし、使用者の責に帰さない機能障害等が発生する場合も考えられることから、公益上必要な場合は市で負担できるように早急に検討する。

質問 8月2日の大雨で東町公民館駐車場等に水没被害があった。市道A441号線、A442号線、幹7号線、国道463号と交わる部分の雨水対策と、グレーチング部分のゴミの取り除き対策はいかがか。



東町地内の通過道路と共同排水設備

か所には土のうで対応しているが、市民の皆様の協力が無くては対応に限界がある。市が対応できる部分は調整検討して対応する。また、市民団体等にも平素の清掃、管理等をお願いしていく。

質問 河川敷の運動施設の管理を見直すべきと思うが。

生涯学習部長 河川敷グラウンドは西武地区と黒須地区にある。西武地区は西武体育協会に管理委託、黒須地区は地元テニスクラブの一部委託、その他は市が管理。今後は利用者、団体と協議を重ね効果的な維持管理に努める。

質問 公園の維持管理に市民の力を借りる考えはあるか。

環境経済部長 自治会、近隣住民、利用者市民の協力を願いたい。

# 市民の声

## ゆるぎない

### 子育て支援のために

宮寺 峯田久江(会社員)



ドイツで「子供を産まないぞ!」ストライキに出遭う。子を産まない権利なんて自分たちにもあつたのか!。私は他国の女性の意識に驚かされた。不安な世に子供は送り出せない」というメッセージだ。我子との日々は毎日が葛藤で、楽しくも悲しくもあるけれど親子にとって一生の中で最も口で貴重な財産である。が、なぜ少子化に向かうのか。税制や保険、年金も日増しに厳しくなっている。「主婦税制」とは、「配偶者控除」が一律廃止されたら、子育てをして

いる家庭は…。景気や世情が

# の

大事な育児環境を左右してよいか。今世界中で「親が子供のことを安心して考えられる環境」について考えねば全てを失いかねない。ドイツヴオルフラーツハウゼン市)と姉妹都市である人間の地でもその環境づくりに一市民として真剣に考えていかなければならない時が来ている。

## 環境問題について

(雑木林を守りませんか?)

久保稲荷 折居明(会社員)



地球温暖化防止CO2削減を訴えながら、首都圏近郊では宅地や商業

地域開発の名のもと森林の伐採が平然と行われています。伐採は1日、育てるのは100年、この地球上で大気の清浄化のほとんどが森林に依存してい

## 三二情報

### 超低床ノンステップバス

について

今回の定例議会において、補正予算としてノンステップバス導入への補助金(109万2千500円・2台分)が審議され、可決されました。この補助金は、路線バスの利便性及び快適性の向上を図り、また、高齢者、障害者等を始めとした全ての人の乗降時の負担軽減(バリアフリー化)を図るため超低床ノンステップバス導入事業を行う路線バス事業者に対し、国、県、市が支援す

るといふものです。

このバスの特徴としては、乗降口の階段をなくしたこと、乗降口を極力低くしたこと等があげられます。通常の路線バスは路面から乗降口までの高さが36.5cmありますが、超低床ノンステップバスは30cmを基準に7cm上下できる機能も備え、路面から乗降口まで23cmとなり、乗り降りが大変楽になります。また、スロープを引き出すことにより、車椅子等での乗り降りが可能となります。

バリアフリー法による人によさしい超低床ノンステップバスは1月にお目見えします。

と、生き続けるための施策を明確にすべきだと思えます。後悔しないために。

## 編集後記

市議会だよりは昭和50年の創刊以来「皆さんに議会活動をお知らせし市民と議会を結びパイプ役になること」を目的に発行が続けられています。

今後その役割が変わることとはありませんが、紙面構成などには常に工夫と改善が加えられています。前号でも触れました「改善の努力」も、現在、具体的な動きになり、新レイアウト案(試作)の作

## 12月定例会日程案

- 12月2日(月)開会
- 12月5日(木)総括質疑
- 12月6日(金)委員会
- 12月10日(火)一般質問
- 12月11日(水)一般質問
- 12月12日(木)一般質問
- 12月18日(水)閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。

☎ 九六四一一一一  
内線5112・5113



成が行われています。今後、細部まで調整を行い、新紙面が決定されることとなります。

## 議会だより編集委員会

- |       |       |
|-------|-------|
| 田中 智義 | 山下 修子 |
| 金子 健一 | 対馬ヨシ江 |
| 金沢実千代 | 宮岡 幸江 |
| 鹿倉 貞二 | 駒井 勲  |
| 高橋 満男 | 友山 信夫 |
| は委員長  | は副委員長 |